

TS-V750A01

SimpleViewerIV

取扱説明書

- 本書の最新版は弊社の WEB サイトよりダウンロード可能です。
- ビューアーソフトは性能向上、その他の理由により予告無く変更することがあります。
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の全ての内容を弊社に無断で複製、転用およびネットワークなどで配布することを禁止します。
- 記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

お問い合わせ先

トム通信工業株式会社

カスタマーサポート部 TEL 0120-600-844

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1244番地

目 次

1. はじめに.....	1
1.1. SimpleViewerⅣのインストール.....	3
1.2. SimpleViewerⅣのアンインストール.....	5
1.3. SimpleViewerⅣの起動方法.....	6
2. 各部の名称とはたらき.....	7
3. ファイル再生.....	10
3.1. SD カードに記録された映像ファイルの再生.....	10
3.2. 再生映像表示.....	11
3.3. ファイルリスト表示.....	12
4. 表示機能.....	15
4.1. 地図表示.....	15
4.2. グラフ表示.....	15
4.3. 接点情報表示.....	16
4.4. 再生機能.....	17
4.5. 画面の拡大.....	17
5. 運転診断.....	19
5.1. 運転診断ファイル保存.....	21
5.2. 運転診断ファイル読み込み.....	22
6. KYT シート.....	23
7. ファイル操作.....	25
7.1. 静止画保存.....	25
7.2. AVI ファイル変換.....	26
7.3. ファイルを検索.....	27
7.4. ファイルをコピー.....	28
7.5. ファイルを削除.....	29
8. ビューアー設定.....	30
8.1. 管理者パスワード設定.....	30
8.2. 起動パスワード設定.....	31
8.3. ビューアーシステム設定.....	33
9. 本体設定.....	35
9.1. イベント設定.....	36
9.2. 本体動作設定.....	38
9.3. 時刻設定.....	39
10. 異常と思われる前に.....	40

1. はじめに

SimpleViewerIVを起動するために下記の動作環境を満たすパソコンが必要です。あらかじめご準備ください。

OS	・ Windows10 Pro 日本語版 64 ビット版 ・ Windows11 Pro 日本語版 64 ビット版
Web ブラウザ	Microsoft Edge インストール済み(バージョン 101.0)
.NET Framework	.NET Framework 4.7
CPU	Core i5 以上
メモリ	4GB 以上(Windows10 Pro) 8GB 以上(Windows11 Pro)
ディスプレイ	1280×768 以上
時刻と言語 地域設定データ(カレンダー)	西暦(日本語)

【動作確認済みパソコン】

メーカー	機種	OS
東芝	dynabook B65H	Windows10 Pro
DELL	Latitude 5290	
HP	HP ProBook 450 G3	
Lenovo	Think Pad L380	
富士通	FMV A2905DP	
マイクロソフト	SURFACE-LAPTOP5	Windows11 Pro
DELL	LATITUDE 3540	
HP	PROBOOK 450 G10	
Lenovo	ThinkPad L15 Gen4	
VAIO	VAIO VJBK シリーズ	

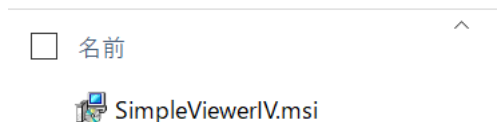
- Windows 8.1、Windows 8、Windows7、Windows Vista、Windows XP、または、それ以前の OS はご利用になれません。
- Microsoft Edge のバージョンが 101.0 より前の場合は、Windows Update から更新プログラムを選択してインストールしてください。
- インストールする際は、インターネットに接続して行って下さい。
- インターネットに接続しない環境では、ビューアー上に地図の表示はできません。

- 時刻と言語の地域設定データで、カレンダー設定を和暦に選択すると、ビューアーは起動しません。西暦(日本語)を選択してください。
- ディスプレイの解像度が 1280×1080 以下の場合、拡大/縮小は 125%以下に設定してください。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1.1. SimpleViewerⅣのインストール

- ① ホームページからダウンロードした「SimpleViewerⅣ_vX.X.X.XX.zip」を展開し、「SimpleViewerⅣ.msi」をダブルクリックします。



- ② 右の画面が表示されます。「次へ」をクリックします。



- ③ 「次へ」をクリックします。

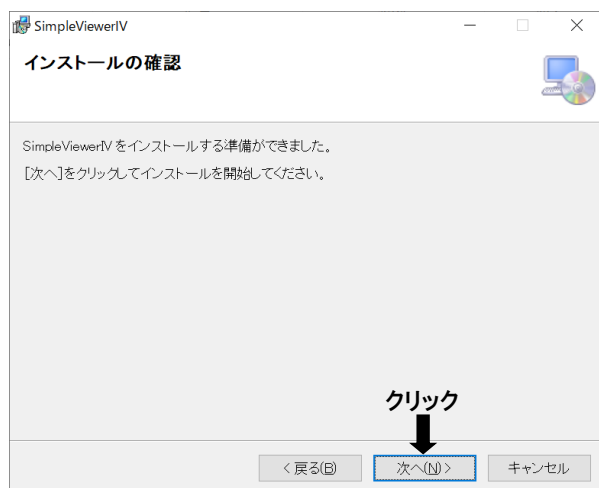
インストール先を変更する場合は「参照」をクリックしてください。

「ディスク領域」をクリックすると、使用可能なディスク容量と必要なディスク容量を確認できます。

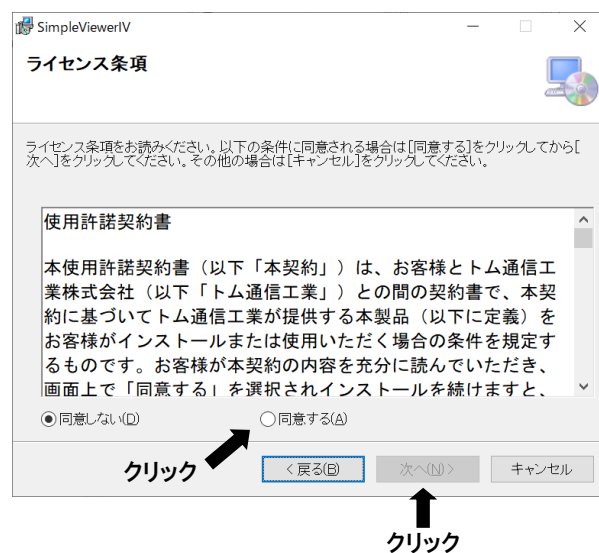
デフォルトでは「このユーザーのみ」になっています。
複数のユーザーが使用する場合は「すべてのユーザー」の○を選択し、●にしてください。



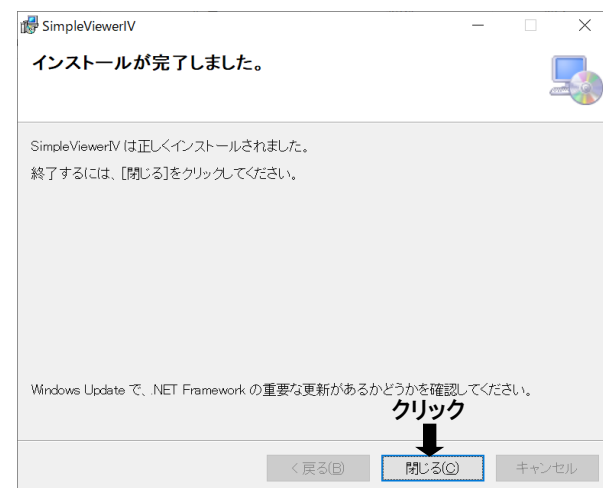
- ④ 右の画面が表示されます。
「次へ」をクリックします。



- ⑤ 使用許諾契約書をよく読み、
「同意する」をクリックし「次へ」を
クリックします。



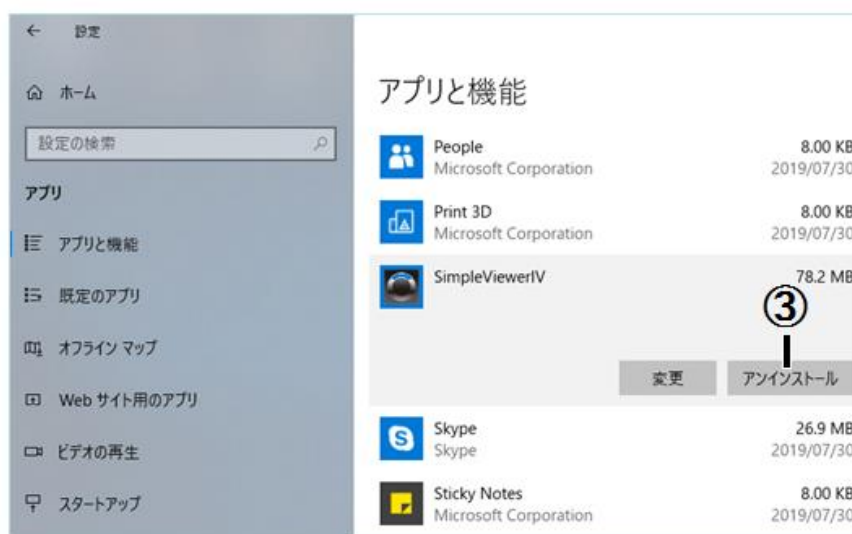
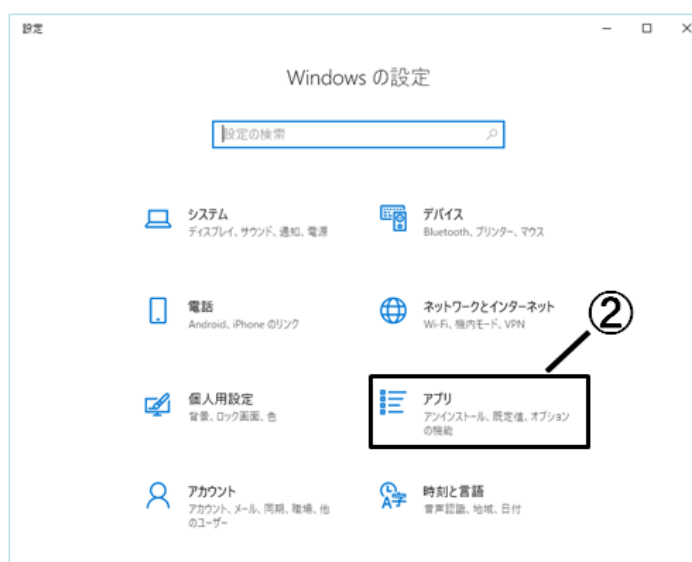
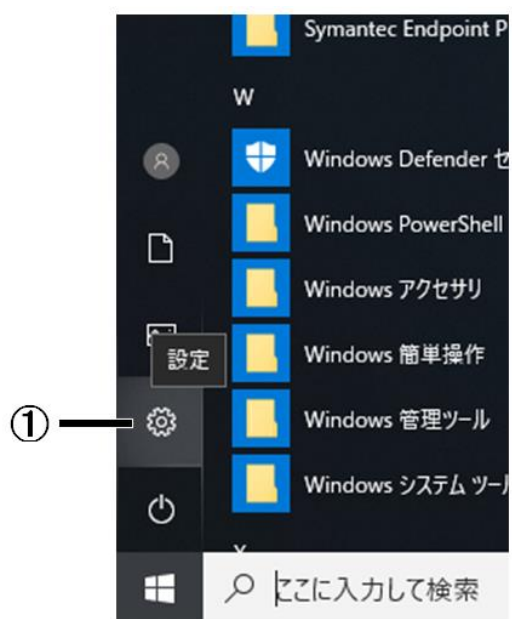
- ⑥ インストールが完了すると右の
画面が表示されます。
「閉じる」をクリックします。



1.2. SimpleViewerⅣのアンインストール

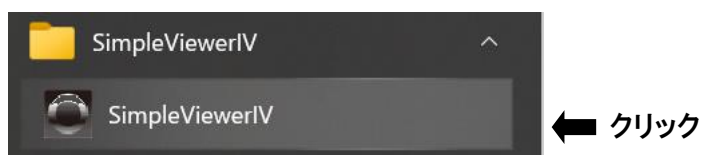
- ① スタートメニューの「設定」をクリックします。
- ② 「Windows の設定」画面の「アプリ」をクリックします。
- ③ 「アプリと機能」から、「SimpleViewerⅣ」をクリックし「アンインストール」をクリックします。

以降は画面の指示にしたがってください。

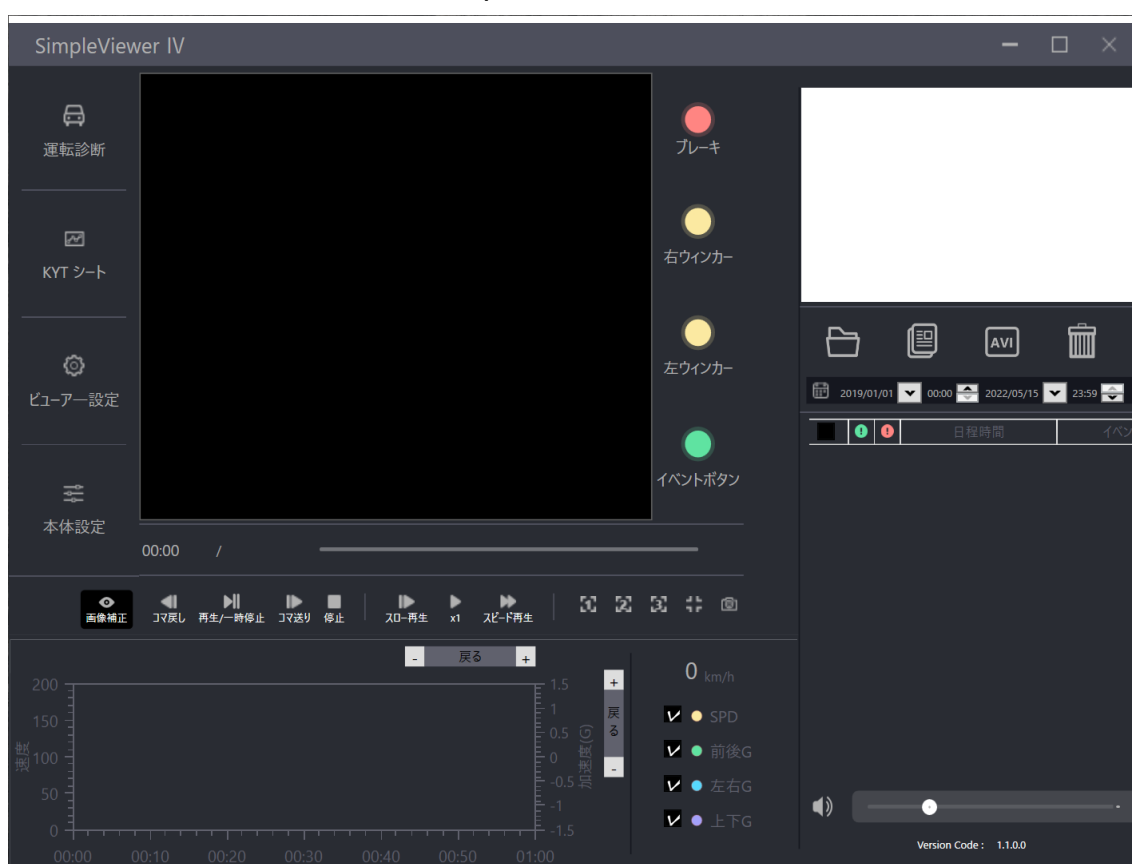


1.3. SimpleViewerⅣの起動方法

スタートメニューの「SimpleViewerⅣ」をクリックするか、デスクトップに作成したショートカットアイコンをダブルクリックすると SimpleViewerⅣ が起動します。



SimpleViewerⅣ の画面



2. 各部の名称とはたらき



① 映像再生

映像を表示します。(最大3画面)(☞P.11)

映像画面右下に録画した日付が表示されます。

[注意]

- I. 画面1、2、3の録画時刻は、最大で1秒ずれる場合があります。
- II. 画面1のファイルが、ファイルを開く(⑧)で指定したフォルダー内に無い場合、再生することができません。

② 運転診断

運転診断を行います。(☞P.19)

③ KYT シート

KYT シートを出力します。(☞P.23)

④ ビューアー設定

ビューアーの動作設定を行います。(☞P.30)

⑤ 本体設定

カメラ一体型ドライブレコーダー本体の設定を行います。
(☞P.35)

⑥ 接点、イベント表示

接点(ブレーキ、右ウィンカー、左ウィンカー)、イベント時に点灯します。(☞P.16)

⑦ 地図

地図表示します。(☞P.15)

⑧ ファイルを開く

再生したい映像ファイルをフォルダーから選択します。(☞P.10)

[注意]

I. フォルダークラスの長さが 261 文字(半角)以上のファイルは再生することができません。

II. 同一の階層に、フォルダーが 101 個以上作成されている場合、その階層のフォルダーを表示することができません。

III. 下記の””で括られた 3 つの文字のいずれかを含む、フォルダーおよびそのフォルダーより下の階層にあるファイルは、再生することができません。

“#”、“/”、“?”

⑨ ファイルをコピー

ファイルのコピーを行います。(P.28)

⑩ AVI ファイル変換

AVI 形式のファイルへ変換します。(P.26)

⑪ ファイルを削除

ファイルの削除を行います。(P.29)

[注意]

SDカードに記録されたファイルを削除するときは必ずビューアソフトの「ファイルを削除」機能を使用してください。

パソコンのファイル管理ソフト(エクスプローラ)などから直接ファイルを削除しないでください。

⑫ ファイルを検索

ファイルリストに表示されるファイルを録画した日付から検索を行います。(P.27)

⑬ ファイルリスト

再生させるファイルのリストを表示します。(P.12)

ファイル名として、録画した日付が表示されます。

⑭ 音量調整

再生音量を調整します。

⑮ 再生時間

再生時間を表示します。

⑯ シークバー

映像の再生箇所を表示します。

⑰ 画面補正

映像の補正切替えを行います。(P.17)

⑱ コマ戻し

再生映像を 1 コマ戻します。(P.17)

⑲ 再生/一時停止

映像ファイルを再生・一時停止します。(P.17)

⑳ コマ送り

再生映像を 1 コマ進めます。(P.17)

㉑ 停止

再生を停止します。(P.17)

㉒ スロー再生

映像をスローで再生します。クリックするごとに、スロー再生速度の倍率を変えることができます。(P.17)

㉓ 通常速度再生

再生速度を通常速度(x1)に戻します。(P.17)

- | | | |
|----|-------------|--|
| ②④ | スピード再生 | 映像を倍速で再生します。クリックするたびに、スピード再生速度の倍率を変えることができます。(●P.17) |
| ②⑤ | 画面 1 の拡大 | 画面 1 のみを表示します。(●P.17) |
| ②⑥ | 画面 2 の拡大 | 画面 2 のみを表示します。(●P.17) |
| ②⑦ | 画面 3 の拡大 | 画面 3 のみを表示します。(●P.17) |
| ②⑧ | もとの画面サイズに戻る | 画面を元のサイズ(3 画面)に戻します。(●P.17) |
| ②⑨ | 静止画保存 | 表示されている映像を静止画で保存します。(●P.25) |
| ③⑩ | グラフ表示 | 速度、加速度(前後 G、左右 G、上下 G)のグラフを表示します。(●P.15) |
| ③① | 時間軸の拡大/縮小 | グラフの時間軸の拡大・縮小を行います。(●P.15) |
| ③② | 加速度軸の拡大/縮小 | グラフの加速度軸の拡大・縮小を行います。(●P.15) |
| ③③ | 速度表示 | 走行映像の速度を表示します。(●P.15) |
| ③④ | 接点情報表示 | 接点入力の状態を表示します。(●P.16) |

3. ファイル再生

3.1. SD カードに記録された映像ファイルの再生

本体で録画した SD カードをパソコンの SD カードスロットに挿入してください。SD カードスロットを搭載していないパソコンは USB SD カードリーダー等をパソコンに接続して使用してください。

映像ファイルを再生する方法

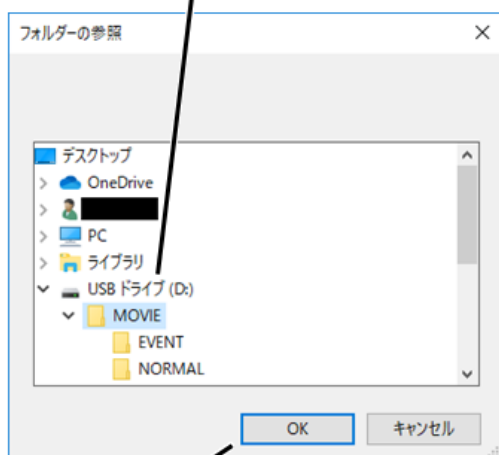
- ① SimpleViewer IV を起動し「ファイルを開く」をクリックします。「フォルダーの参照」画面が表示されます。
- ② SD カードが挿入されているドライブ(リムーバブルディスク)の「MOVIE」フォルダーを選択します。
- ③ 「OK」をクリックします。ファイルリストにファイルの一覧が表示されます。
- ④ 再生させるファイルを選択します。
- ⑤ 「再生/一時停止」をクリックすると再生されます。

※ファイルリストのファイルをダブルクリックすることで再生を開始することも可能です。



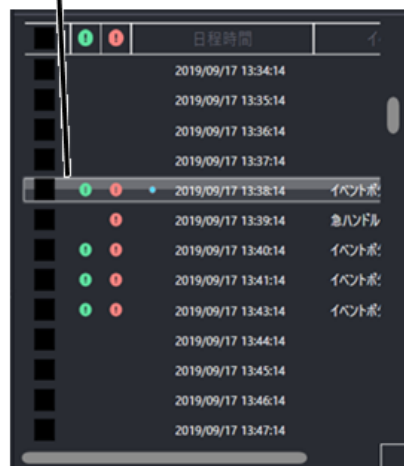
① 「ファイルを開く」をクリックします。

② リムーバブルディスクの「MOVIE」フォルダーを選択します。



③ 「OK」をクリックします。

④ 再生させるファイルを選択します。



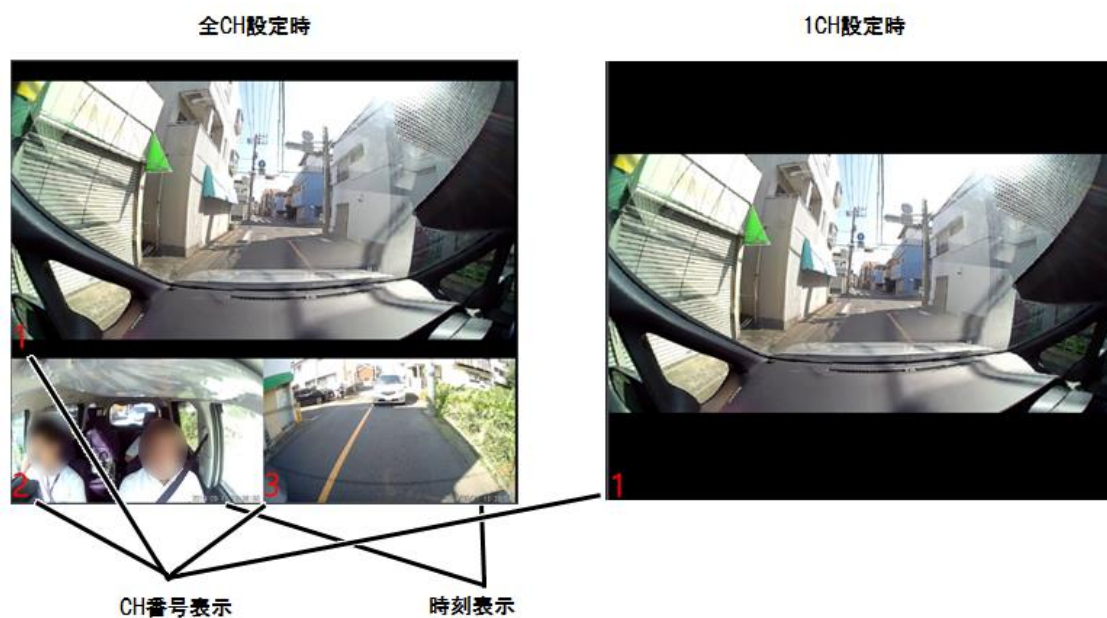
⑤ 「再生/一時停止」をクリックします。

3.2. 再生映像表示

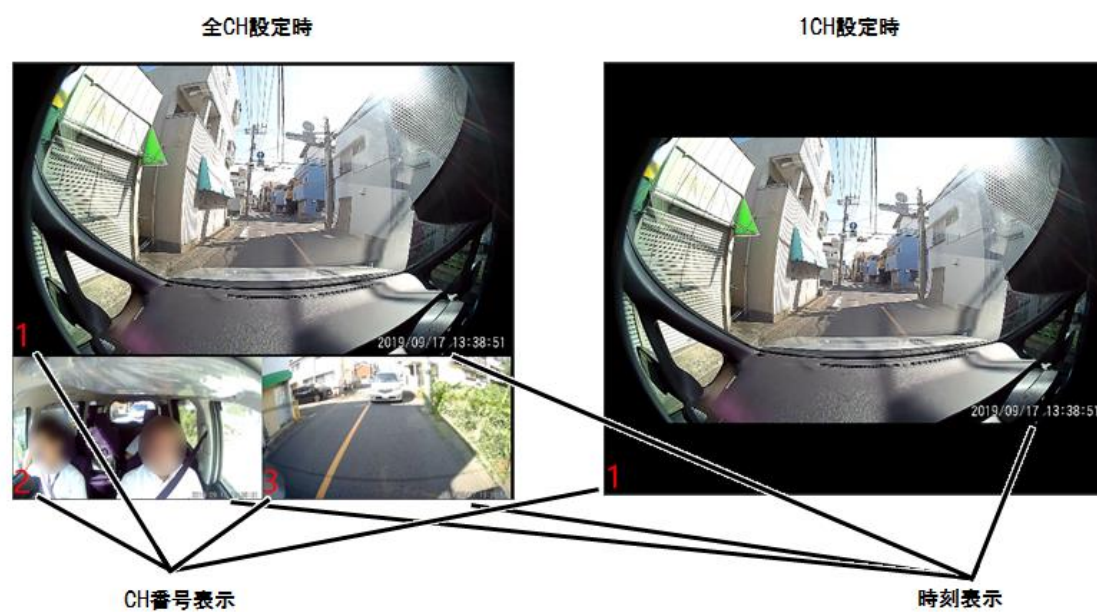
録画した映像ファイルには録画時刻、及び、CH 番号が表示されます。

画像補正なしを選択すると、画像1の映像に録画時刻が表示されます。

画像補正あり

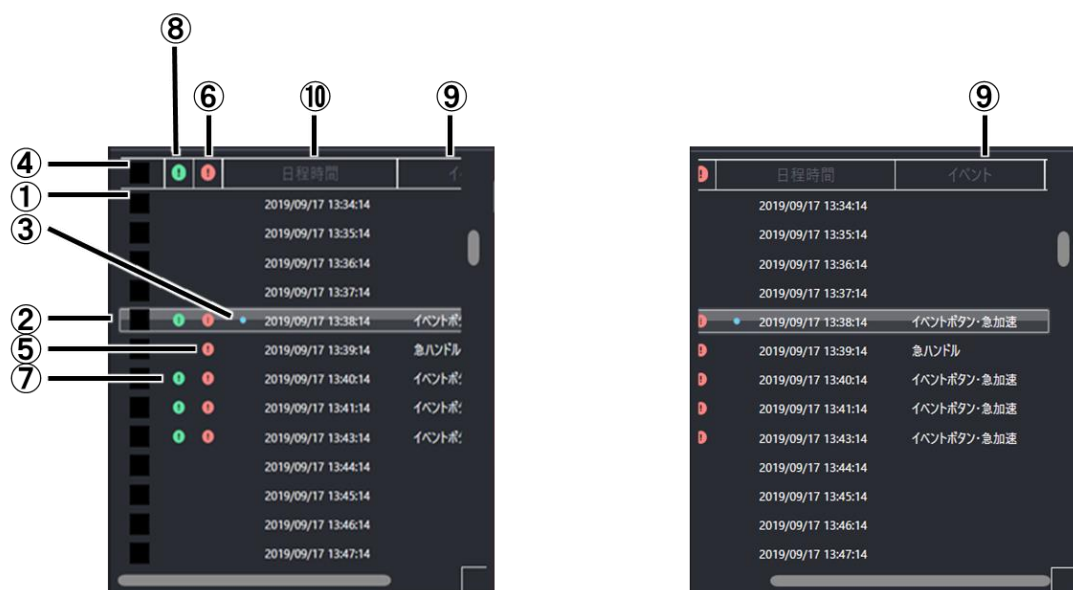


画像補正なし



3.3. ファイルリスト表示

ファイルリスト表示は「ファイルを開く」で指定したフォルダーに保存されているファイルの一覧をリスト表示します。



- | | |
|--|--|
| <p>① ファイル選択</p> <p>② 選択ファイル表示</p> <p>③ 再生済みマーク</p> <p>④ 全ファイル選択/選択解除</p> <p>⑤ イベントマーカー(赤)</p> <p>⑥ イベントファイル抽出
!(赤色)</p> <p>⑦ イベントマーカー(緑)</p> <p>⑧ イベントファイル抽出
!(緑色)</p> <p>⑨ イベント種別</p> <p>⑩ 録画時刻</p> | <p>「AVI ファイル変換」、「ファイルをコピー」、「ファイルを削除」の機能を使用する場合にチェックボックスをクリックし、オンにすることでファイルの選択を行います。</p> <p>選択中のファイルを白色の囲いで表示します。</p> <p>ビューアーを起動してから再生したファイルに青色の「○」マークが付きます。</p> <p>④の箇所をクリックすると、ファイル選択で指定したフォルダーにある全てのファイルの選択と解除を切替えることができます。</p> <p>イベントファイルに「!(赤色)」マークが付きます。</p> <p>⑥の箇所をクリックすると「!(赤色)」マークがついたファイルのみを抽出して、ファイルリストに表示します。</p> <p>イベントボタンによるイベントファイルに「!(緑色)」マークが付きます。</p> <p>⑧の箇所をクリックすると「!(緑色)」マークがついたファイルのみを抽出して、ファイルリストに表示します。</p> <p>イベントボタン、急加速、急ブレーキ、急ハンドルのイベントの種別を表示します。</p> <p>1 ファイルに複数のイベントが発生した場合は併記されます。</p> <p>映像ファイルの記録が開始された時刻を示します。</p> |
|--|--|

・イベントファイルだけをコピーする場合

ファイルリストの上の「！（赤色）」の箇所(①の箇所)をクリックしイベントファイルのみを抽出し、②の箇所をクリックすると、抽出されたイベントファイルだけを選択することができます。再度、②の箇所をクリックすると抽出が解除されます。

この状態で「ファイルをコピー」をクリックするとイベントファイルのみを抽出しコピーすることができます。

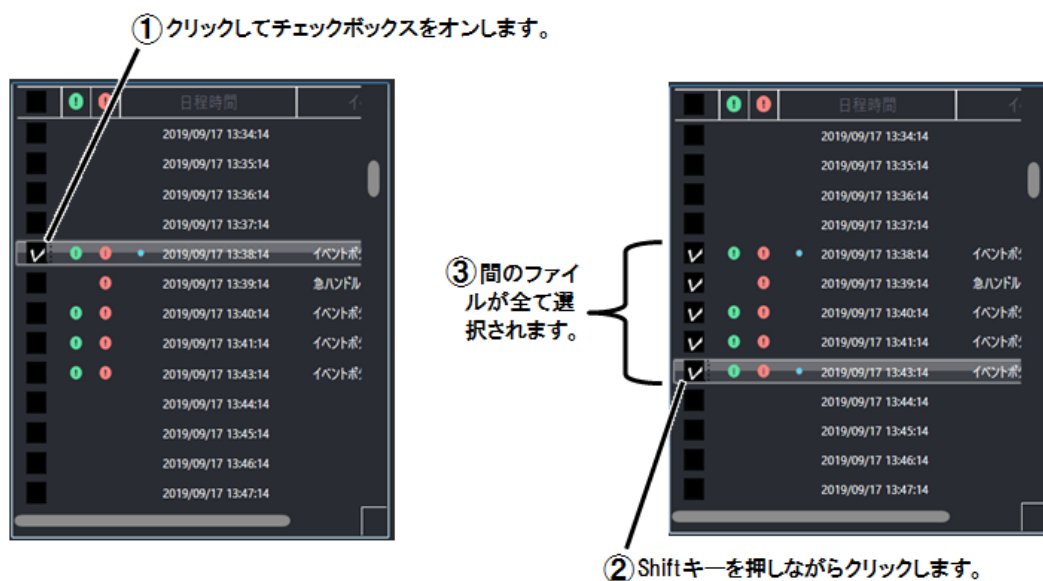


イベントファイルだけリストに表示されます。

イベントボタンによるイベントファイル「！（緑色）」についても同様の方法でイベントファイルだけを抽出してコピーすることができます。

・複数のファイルを同時に選択する場合

Shift キーを押しながらチェックボックスをクリックしオンにすると、最後に選択されたファイルから最初を選択したファイルの間のファイルを同時に選択することができます。



「ファイルを開く」で指定したフォルダーに保存されているファイルがファイルリストに表示されるまでの時間の目安は、下記条件で約 2 秒となります。

・ファイル数	:960 ファイル(16 時間分)
・ビットレート	:H 設定
・オプションカメラ接続数	:2 台
・パソコン環境	:1 ページ目参照
・ビューアー動作	:再生中

4. 表示機能

4.1. 地図表示

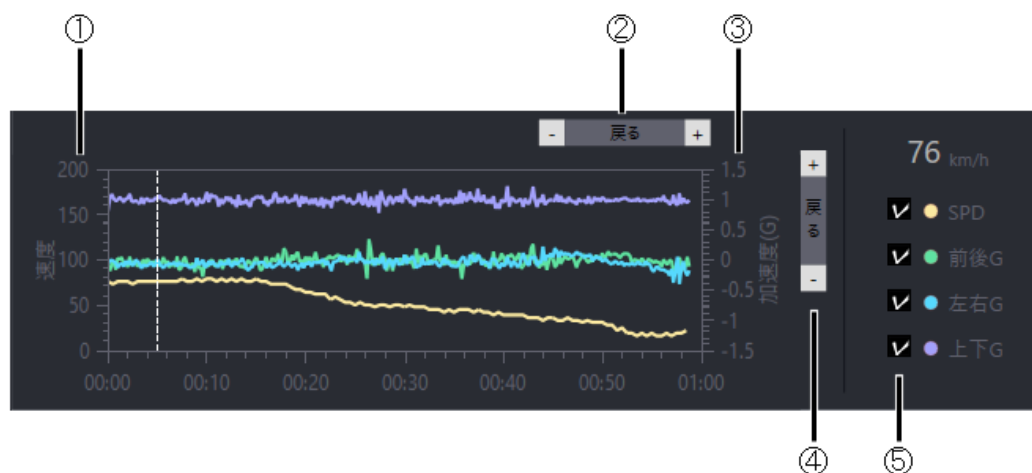
GPS を使用して録画した映像ファイルの走行の場所と軌跡を地図に表示することができます。地図の表示を行うためにはインターネットに接続できる環境でビューアーを起動してください。



録画開始して数分間は GPS が受信できないため地図に表示されない場合があります。また、トンネル内等で GPS が受信できない場合は、表示位置が更新されません。GPS の受信状況により表示される位置がずれる場合があります。

4.2. グラフ表示

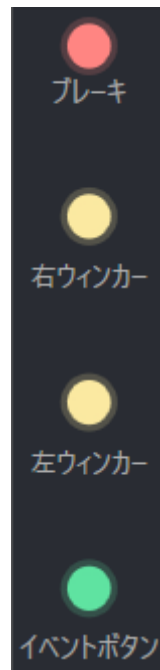
映像とともに記録した加速度データ(下図⑤の「前後 G」、「左右 G」、「上下 G」)と速度データ(下図⑤の「SPD」)をグラフに表示します。速度表示は車両からの速度信号、または、GPS データによる速度表示が選択できます。



- | | |
|-----------------|---|
| ① 速度軸 | 速度の軸です。 |
| ② 時間軸の拡大・縮小 | 時間軸の拡大・縮小を行います。「+」をクリックすると拡大し、「-」をクリックすると縮小します。「戻る」をクリックすると標準の時間軸に戻ります。 |
| ③ 加速度軸 | 加速度の軸です。 |
| ④ 加速度軸の拡大・縮小 | 加速度軸の拡大・縮小を行います。「+」をクリックすると拡大し、「-」をクリックすると縮小します。「戻る」をクリックすると標準の加速度軸に戻ります。 |
| ⑤ グラフ表示チェックボックス | チェックボックスをオンにしたグラフを表示します。 |

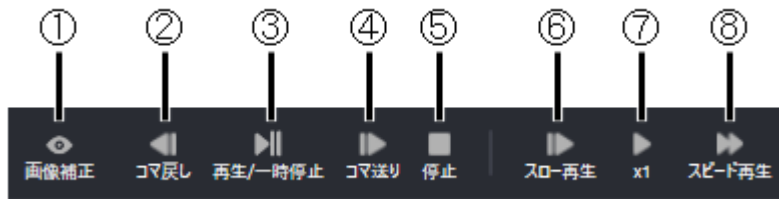
4.3. 接点情報表示

接点入力で車両信号を取得している場合、再生している時点での接点の状態を表示します。



4.4. 再生機能

通常の再生のほかにコマ送りやスロー再生を行うことができます。

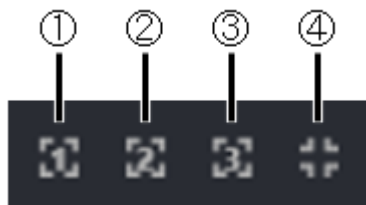


- | | |
|-----------|---|
| ① 画像補正 | 映像の状態を切り替えます。通常状態と画像補正状態があります。デフォルト設定は、画像補正が選択されています。 |
| ② コマ戻し | 1コマ(約0.035秒)分、映像を戻した後一時停止します。 |
| ③ 再生/一時停止 | 映像の再生と一時停止をします。再生中の場合は一時停止し、一時停止中の場合は再生します。 |
| ④ コマ送り | 1コマ(約0.035秒)分、映像を進めた後一時停止します。 |
| ⑤ 停止 | 再生中の映像を停止します。停止時は再生中のファイルの先頭の映像を表示します。 |
| ⑥ スロー再生 | 再生速度を遅くします。クリックするたびに再生速度倍率が下がります。「x1/16」まで変えることができます。 |
| ⑦ 通常速度再生 | 再生速度を通常速度(x1)に戻します。 |
| ⑧ スピード再生 | 再生速度を速めます。クリックするたびに再生速度倍率が上がります。「x4」まで変えることができます。 |

4.5. 画面の拡大

・各CHの拡大表示

再生映像をCH毎に拡大することができます。



- | | |
|----------|--------------------------|
| ① 1CH 拡大 | 1CH の映像を拡大表示します。 |
| ② 2CH 拡大 | 2CH の映像を拡大表示します。 |
| ③ 3CH 拡大 | 3CH の映像を拡大表示します。 |
| ④ 戻る | 1CH、2CH、3CH の映像を全て表示します。 |

・別ウィンドウでの拡大表示

映像が表示されている範囲をダブルクリックすると、ダブルクリックしたCHの映像が別ウィンドウで表示されます。この状態でウィンドウの端をドラッグすると画面サイズを自在に変えることができます。

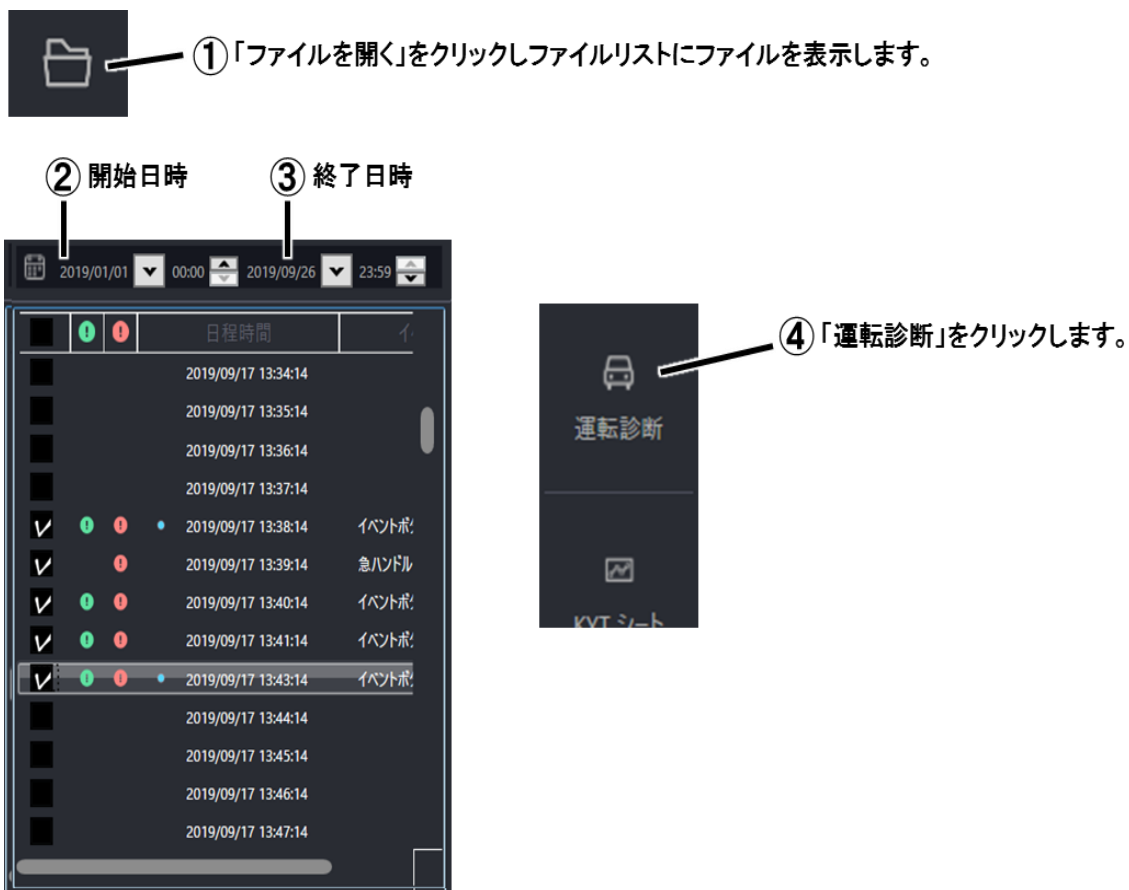


5. 運転診断

運転診断は録画中に記録した運行データ(加速度、速度、イベント情報)を基にして運転診断を行います。運転診断をクリックした際に、ファイルリストに表示しているファイルについて運転診断を行います。

運転診断を行う方法

- ①「ファイルを開く」をクリックします。ファイルリストにファイルが表示されます。
- ②運転診断を行う範囲の「開始日時」を指定します。
- ③②と同様に、「終了日時」を指定します。
- ④「運転診断」をクリックすると、運転診断結果が表示されます。



運転診断結果が表示されるまでの時間の目安は、下記条件で約 100 秒となります。

- | | |
|--------------|-----------------|
| ・ファイル数 | :60 ファイル(1 時間分) |
| ・ビットレート | :H 設定 |
| ・オプションカメラ接続数 | :2 台 |
| ・イベント件数 | :1 件 |
| ・パソコン環境 | :1 ページ目参照 |
| ・ビューアー動作 | :再生中 |

・運転診断結果画面



- | | |
|----------|---|
| ① 診断日時範囲 | ファイル検索欄の日時範囲の開始時刻と終了時刻が表示されます。 |
| ② 製造番号 | 運行データを記録した本体の製造番号が表示されます。 |
| ③ 車両番号 | 運行データを記録した本体の車両番号が表示されます。
車両番号が設定されていない場合は「00000000」が表示されます。 |
| ④ 運転者 | 運転者名を記入できます。記入した内容は印刷時に表示されます。 |
| ⑤ 総合運転得点 | 運転診断の総合得点が表示されます。 |
| ⑥ 安全運転得点 | 安全運転の得点が表示されます。 |
| ⑦ エコ運転得点 | エコ運転の得点が表示されます。 |
| ⑧ 記録時間 | 日時指定した範囲における記録時間が表示されます。 |
| ⑨ 走行距離 | 日時指定した範囲における走行距離が表示されます。
(車速信号接続時に有効) |
| ⑩ 最高速度 | 日時指定した範囲における最高速度が表示されます。
(車速信号接続時に有効) |
| ⑪ 急加速 | 診断日時範囲内に発生した急加速の回数が表示されます。 |

- | | |
|------------|---|
| ⑫ 急ブレーキ | 診断日時範囲内に発生した急ブレーキの回数が表示されます。 |
| ⑬ 急ハンドル | 診断日時範囲内に発生した急ハンドルの回数が表示されます。 |
| ⑭ 速度超過 | 診断日時範囲内に発生した速度超過の回数が表示されます。
(車速信号接続時に有効) |
| ⑮ アイドリング時間 | 診断日時範囲内でアイドリングと判定した累積時間が表示されます。
(車速信号接続時に有効) |
| ⑯ 運転分析チャート | イベント集計から得点計算した結果がチャートで表示されます。 |
| ⑰ コメント記入欄 | 任意のコメントを記入できます。記入した内容は印刷時に表示されます。 |
| ⑱ 印刷 | 運転診断結果の印刷を行います。 |
| ⑲ 保存 | 運転診断結果をファイルに保存します。 |
| ⑳ 読込 | 保存した運転診断結果を表示します。 |
| ㉑ 閉じる | 運転診断結果画面を閉じます。 |

5.1. 運転診断ファイル保存

運転診断の結果をファイルに保存します。運転診断の結果と一緒に運転者、及び、コメント記入欄に入力した内容についても保存されます。

運転診断ファイルを保存する方法

- ① 運転診断結果画面の「保存」をクリックします。「名前をつけて保存」画面が表示されます。
- ② ファイル名は車両番号、開始日付で自動的に付与されます。ファイル名を変更したい場合はファイル名を入力します。
- ③ 「保存」をクリックするとファイルが保存されます。

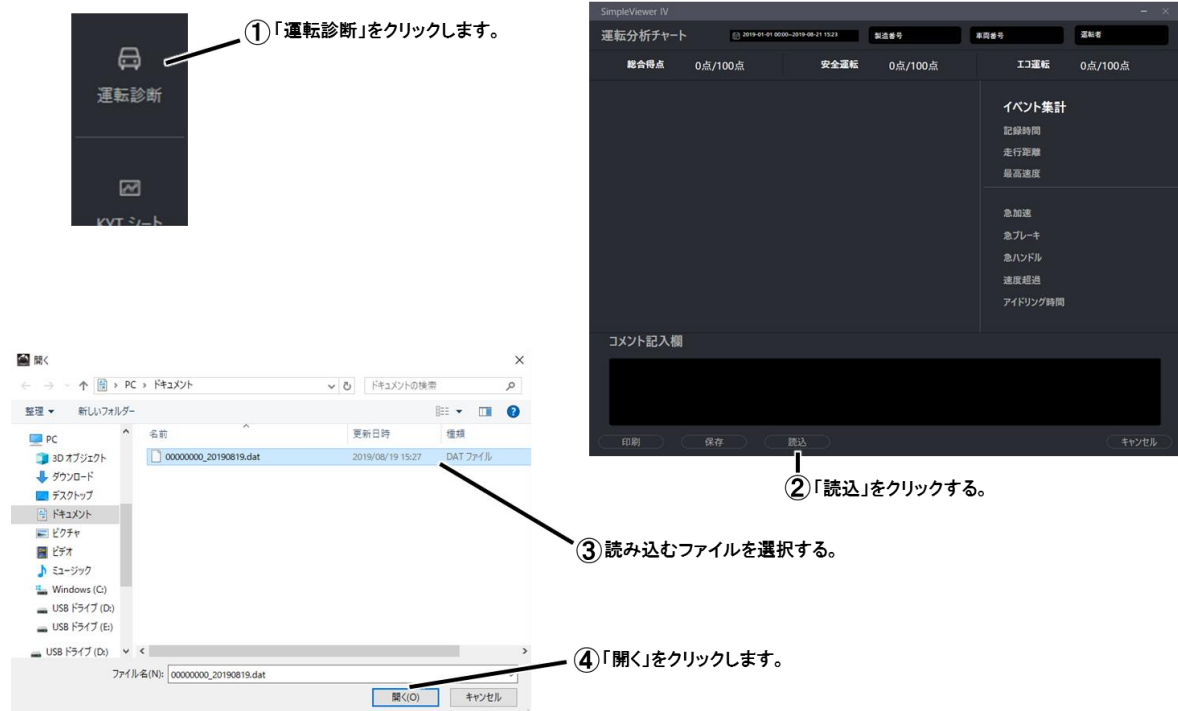


5.2. 運転診断ファイル読み込み

ファイル保存した運転診断結果のファイルを読み込みます。

運転診断ファイルを読み込む

- ①「運転診断」をクリックし運転診断結果画面を開きます。
- ②「読込」をクリックします。「開く」画面が表示されます。
- ③読み込むファイルを選択します。
- ④「開く」をクリックします。



6. KYT シート

記録した映像から危険予知トレーニングシート(KYT シート)を作成することができます。

KYT シートを作成する方法

- ①記録した映像を再生させ、KYT シートを作成したい映像の場所で「再生/一時停止」をクリックします。
- ②「KYT シート」をクリックします。「KYT シート画面」が表示されます。

※再生中に「KYT シート」をクリックしても動作しません。

KYT シートの作成は一時停止中もしくは停止中に行ってください。



・KYT シート画面説明



- | | |
|-----------|-----------------|
| ① 状況画像表示 | 画像を表示します。 |
| ② 接点情報表示 | 接点情報を表示します。 |
| ③ コメント記入欄 | コメントを入力します。 |
| ④ 印刷 | 印刷します。 |
| ⑤ 保存 | PDF ファイルで保存します。 |
| ⑥ 閉じる | KYT シートを閉じます。 |
| ⑦ 運転者名記入欄 | 運転者名を入力します。 |
| ⑧ 地図表示 | 地図を表示します。 |
| ⑨ グラフ表示 | グラフを表示します。 |

7. ファイル操作

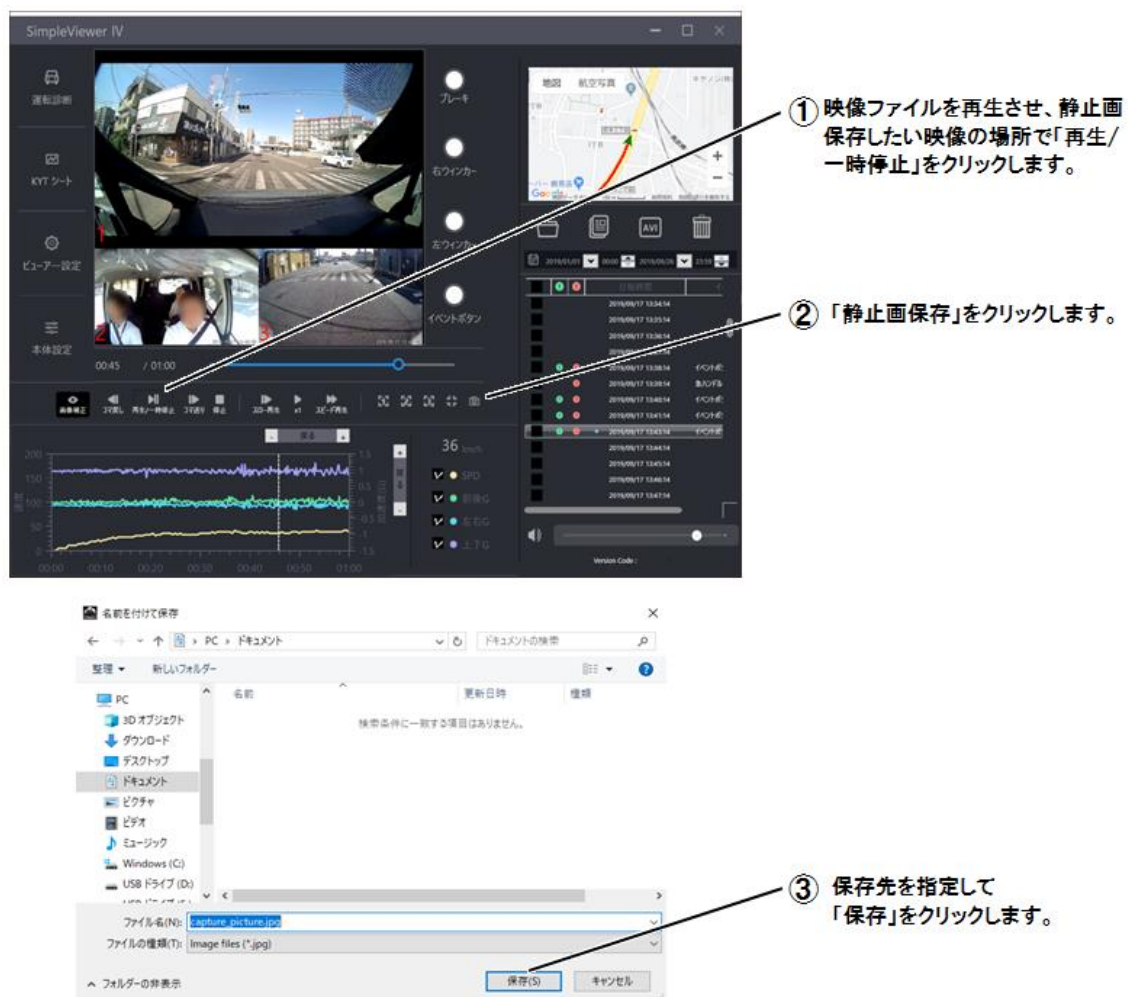
7.1. 静止画保存

映像データの一コマを、静止画像(JPEG)の形式に変換して保存することができます。

静止画保存の方法

- ①映像ファイルを再生させ、静止画保存したい映像の場所で「再生/一時停止」をクリックします。
- ②「静止画保存」をクリックします。「静止画ファイル保存」画面が表示されます。
- ③保存先のフォルダーを指定しファイル名を入力して「保存」をクリックします。

※再生中に「静止画保存」をクリックした場合、映像を一時停止し静止画保存を行います。



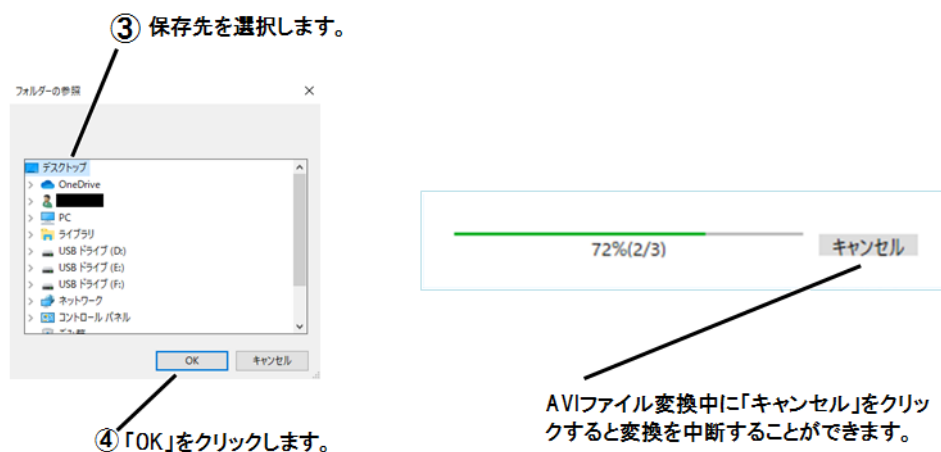
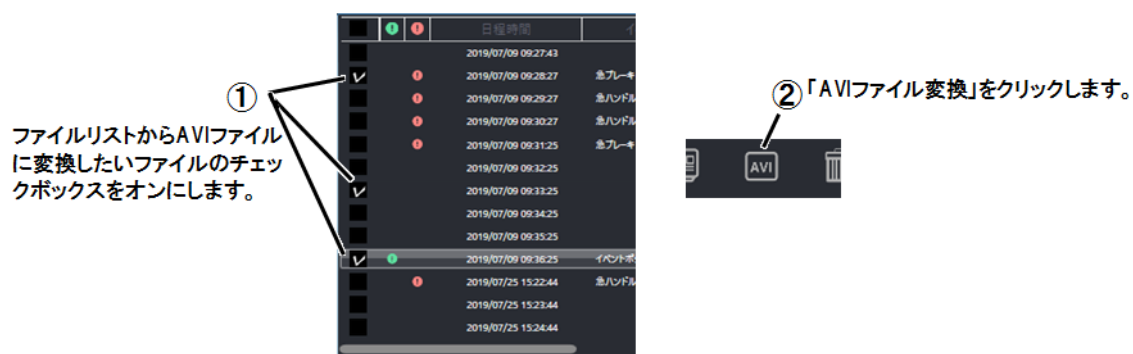
7.2. AVI ファイル変換

記録した映像ファイルを AVI 形式のファイルに変換します。AVI 形式のファイルは映画 & テレビ等で再生ができます。

AVI ファイルに変換する方法

- ①ファイルリストから AVI ファイルに変換したいファイルのチェックボックスをクリックし、オンにする。
- ②「AVI ファイル変換」をクリックします。「フォルダーの参照」画面が表示されます。
- ③保存先を選択します。
- ④「OK」をクリックします。AVI ファイルへの変換が開始されます。

※AVI ファイルの変換中に「キャンセル」をクリックすると、変換を中断することができます。
中断した AVI ファイルは再生できませんので削除してください。

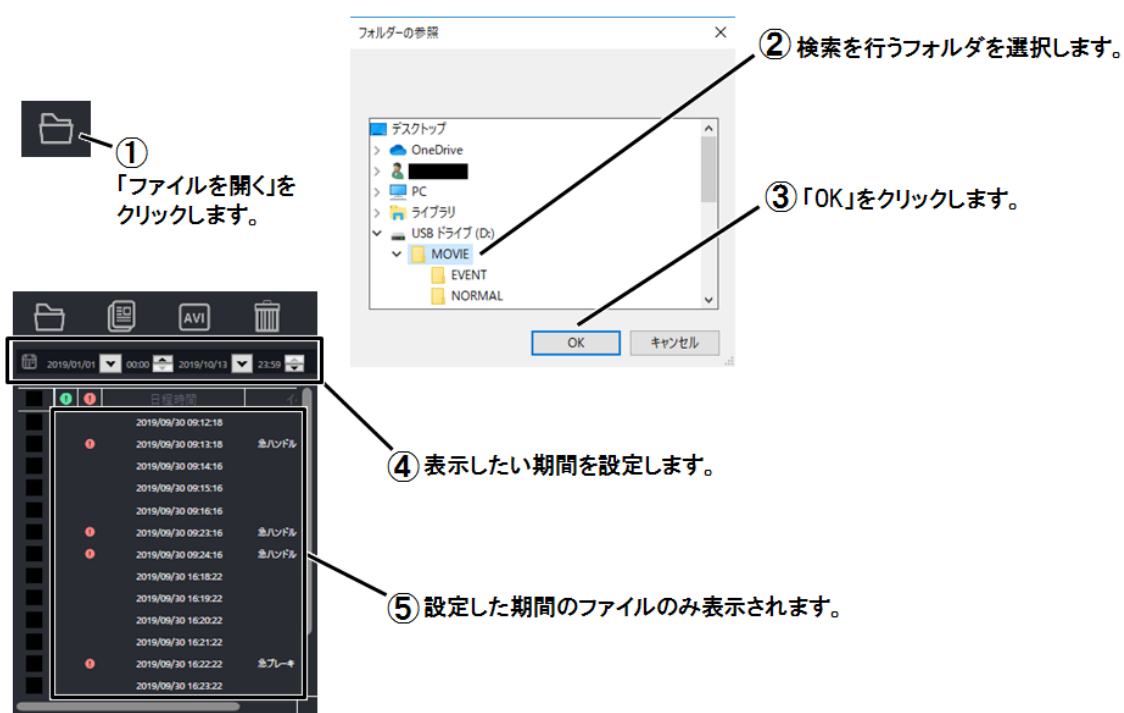


7.3. ファイルを検索

ファイルリストにあるファイルから日付・時刻を指定してファイルを検索することができます。

ファイルを検索する方法

- ①「ファイルを開く」をクリックします。「フォルダーの参照」画面が表示されます。
- ②SD カードが挿入されているドライブ(リムーバブルディスク)の「MOVIE」フォルダーを選択します。
- ③「OK」をクリックします。ファイルリストにファイルの一覧が表示されます。
- ④ファイルリスト上部から表示したい期間を設定します。
- ⑤キーボードの「Enter」を押します。設定した期間のファイルのみ表示されます。

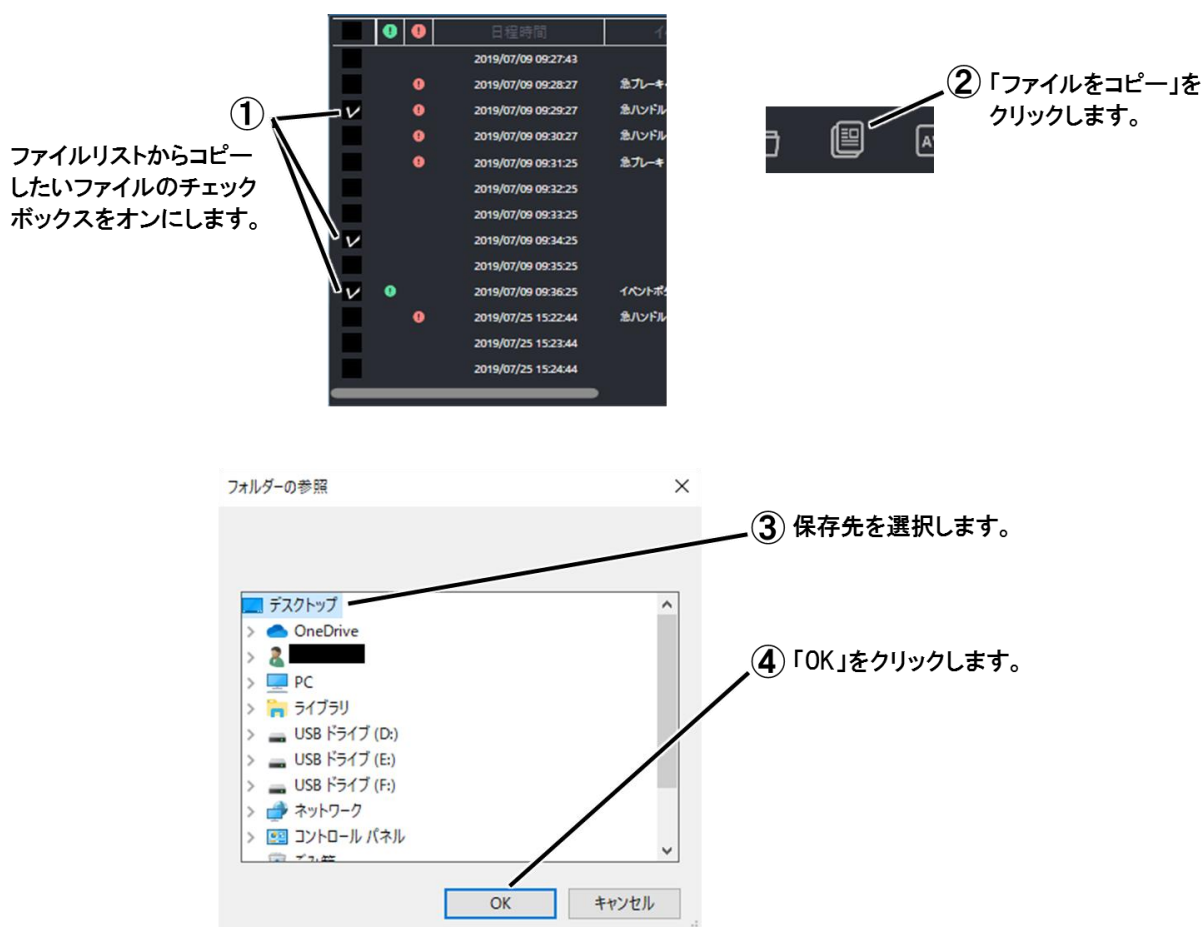


7.4. ファイルをコピー

ファイルリストに表示されているファイルを選択してパソコンのハードディスクにコピーを行います。

ファイルをコピーする方法

- ①ファイルリストからコピーしたいファイルのチェックボックスをクリックし、オンにします。
- ②「ファイルをコピー」をクリックします。
- ③保存先を選択します。
- ④「OK」をクリックします。ファイルのコピーが開始されます。

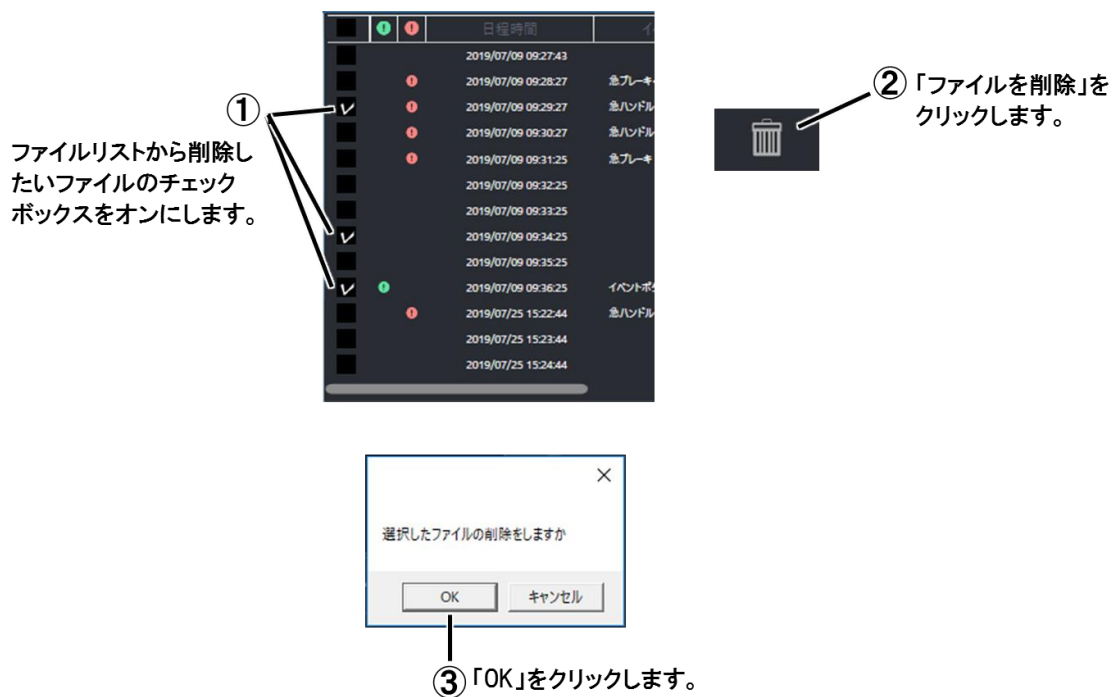


7.5. ファイルを削除

ファイルリストに表示されているファイルを選択して削除します。

ファイルを削除する方法

- ①ファイルリストから削除したいファイルのチェックボックスをクリックし、オンにします。
- ②「ファイルを削除」をクリックします。確認メッセージが表示されます。
- ③「OK」をクリックします。



※SD カードに記録されているファイルを削除する場合はビューアーから削除を行ってください。
SD カードに記録されているファイルを直接削除しないでください。

※ビューアーで SD カードに記録されている映像ファイルを削除した場合、本体は SD カードの
ファイル情報を取得しなおしますので、録画開始するまでに時間がかかります。

8. ビューアー設定

ビューアー設定には管理者パスワード設定、起動パスワード設定、および、ビューアーシステム設定があります。

8.1. 管理者パスワード設定

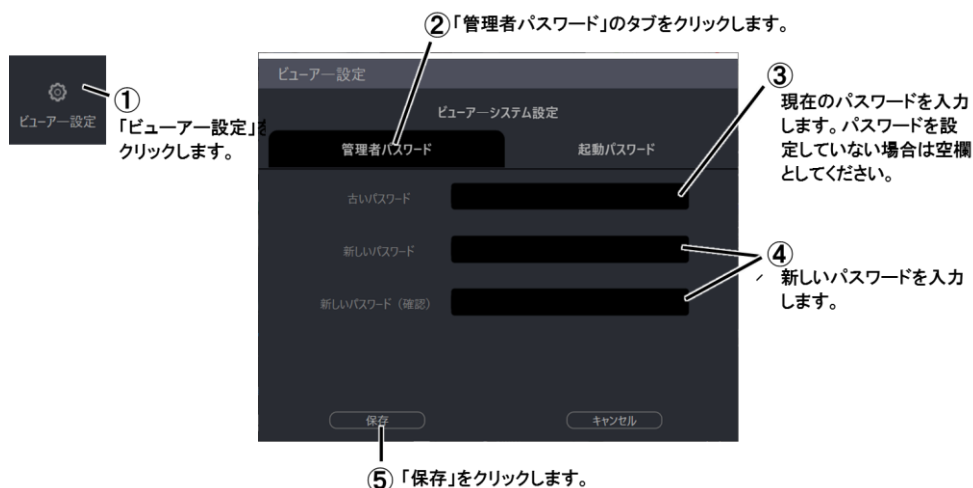
管理者パスワードを設定すると「ファイルを削除」の実行時に管理者パスワードが要求されます。パスワードが正しければ選択されたファイルが削除されます。

※管理者パスワードが未設定の場合に「ファイルを削除」を実行すると、即座に削除されます。

管理者パスワードの設定方法

- ①「ビューアー設定」をクリックします。「ビューアー設定」画面が表示されます。
- ②「管理者パスワード」のタブをクリックします。
- ③現在のパスワードを「古いパスワード」に入力します。パスワードを設定していない場合は空欄としてください。
- ④新しいパスワードを「新しいパスワード」と「新しいパスワード(確認)」に入力します。
- ⑤「保存」をクリックします。管理者パスワードが設定されます。

※入力制限:8文字以上の英数字、記号不可。



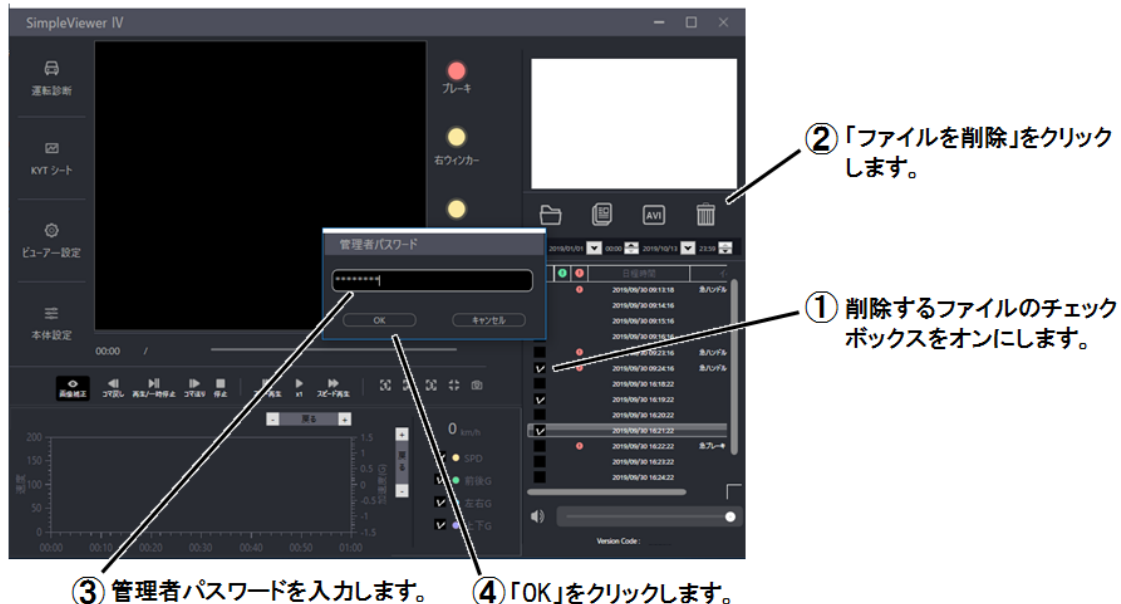
管理者パスワードの解除方法

- ①「ビューアー設定」をクリックします。「ビューアー設定」画面が表示されます。
- ②「管理者パスワード」のタブをクリックします。
- ③現在のパスワードを「古いパスワード」に入力します。(「新しいパスワード」及び「新しいパスワード(確認)」は空欄にします。)
- ④「保存」をクリックします。管理者パスワードが解除されます。

※管理者パスワードを解除すると、「ファイルを削除」実行時にパスワードを入力せずに即座に削除されるようになります。

管理者パスワード設定時のファイルを削除する方法

- ①削除するファイルのチェックボックスをクリックし、オンにします。
- ②「ファイルを削除」をクリックします。管理者パスワードの入力画面が表示されます。
- ③管理者パスワードを入力します。
- ④「OK」をクリックします。パスワードが正しければ選択したファイルが削除されます。



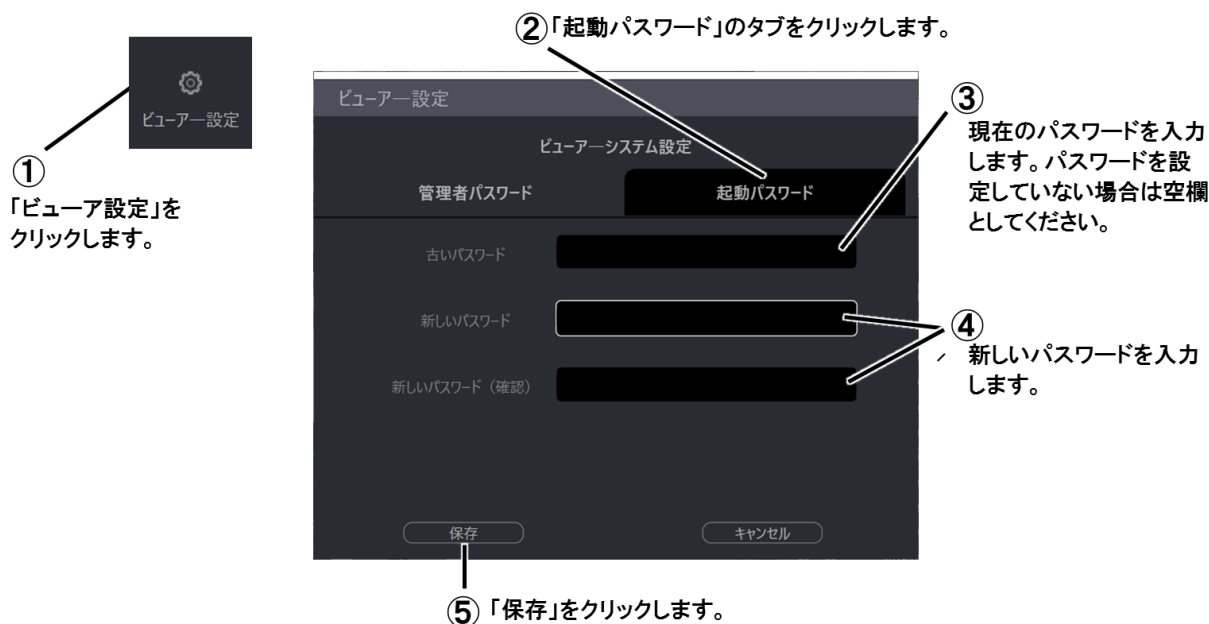
8.2. 起動パスワード設定

起動パスワードを設定すると起動時にパスワードが要求されます。パスワードが正しければビューアーが起動します。

起動パスワードの設定方法

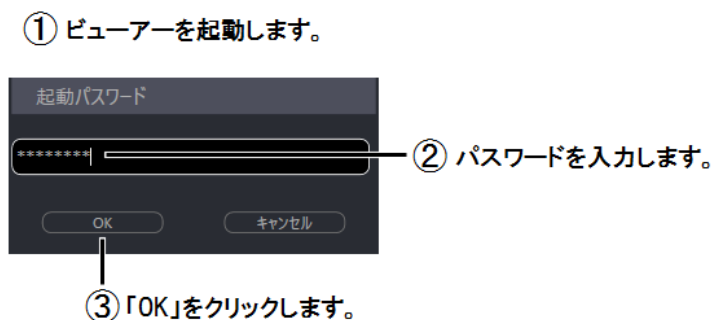
- ①「ビューアー設定」をクリックします。「ビューアー設定」画面が表示されます。
- ②「起動パスワード」のタブをクリックします。
- ③現在のパスワードを「古いパスワード」に入力します。パスワードを設定していない場合は空欄としてください。
- ④新しいパスワードを「新しいパスワード」と「新しいパスワード(確認)」に入力します。
- ⑤「保存」をクリックします。起動パスワードが設定されます。

※入力制限:8文字以上の英数字、記号不可。



起動パスワード設定時のビューアーを起動する方法

- ① SimpleViewer IV を起動します。パスワード入力画面が表示されます。
- ② パスワードを入力します。
- ③ 「OK」をクリックします。パスワードが正しければビューアーソフトが起動します。



起動パスワードの解除方法

- ① 「ビューアー設定」をクリックします。「ビューアー設定」画面が表示されます。
- ② 「起動パスワード」のタブをクリックします。
- ③ 現在のパスワードを「古いパスワード」に入力します。（「新しいパスワード」及び「新しいパスワード(確認)」は空欄にします。）
- ④ 「保存」をクリックします。起動パスワードが解除されます。

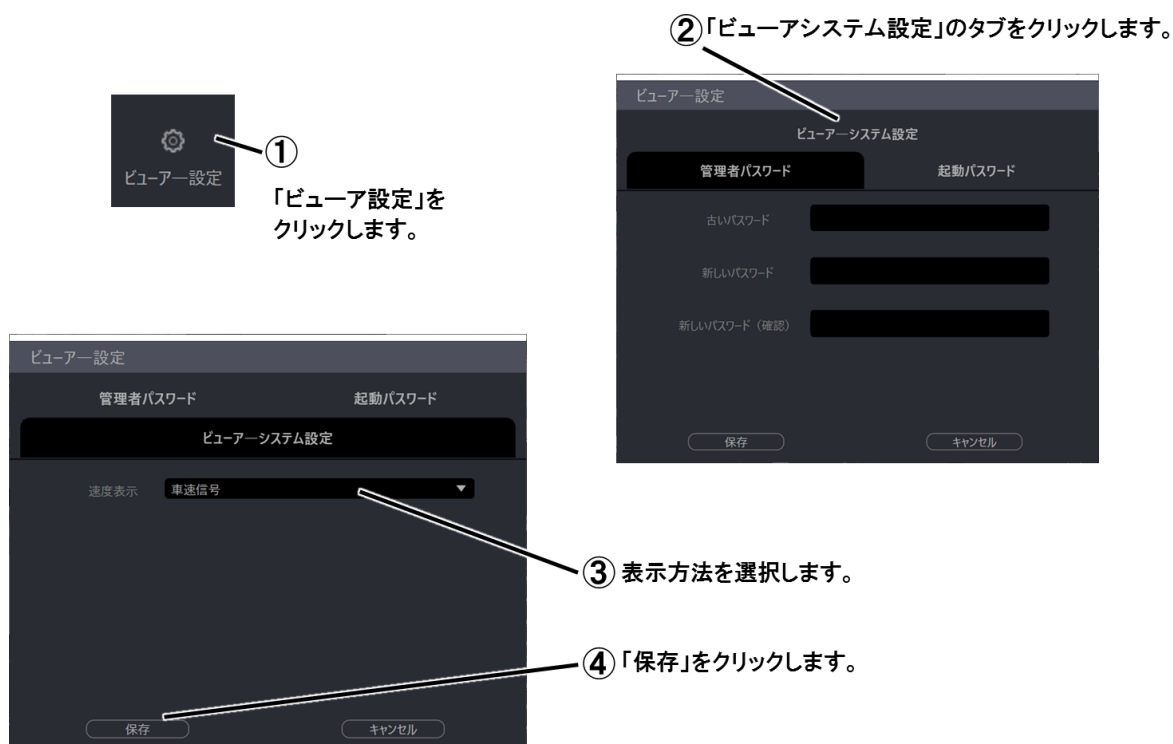
8.3. ビューアーシステム設定

ビューアーシステム設定はビューアーの速度表示方法の設定が行えます。

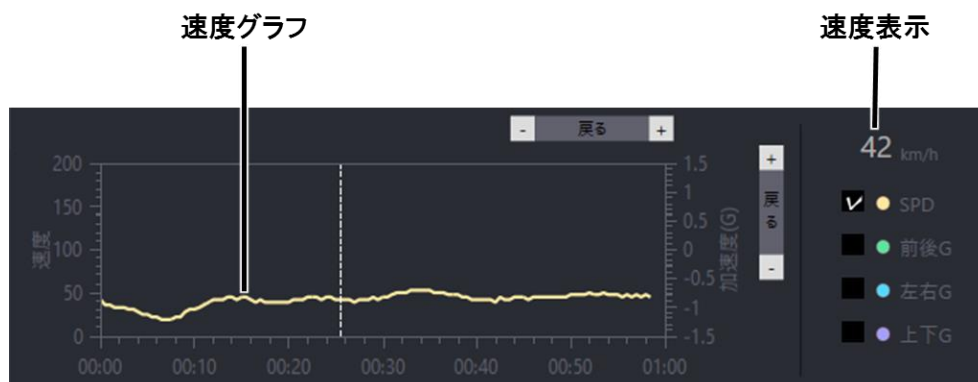
速度表示方法の設定方法

- ①「ビューアー設定」をクリックします。「ビューアー設定」画面が表示されます。
- ②「ビューアーシステム設定」のタブをクリックします。
- ③「速度表示」を設定します。
- ④「保存」をクリックします。速度表示方法が設定されます。

※デフォルト設定は、車速信号が選択されています。



速度表示の方法は「GPS」、または、「車速信号」を選択します。車速信号を接続しない場合はGPS を選択してください。本機で受信した GPS データにより速度グラフ、および、速度表示が行えます。



※速度表示の設定は、保存時に再生されているファイルでは反映されません。

他のファイルを再生する、再生中のファイルをファイルリストでダブルクリックによって再生する、あるいは「ファイルを開く」で再表示した際に反映されます。

※速度表示を「GPS」に選択している場合、速度グラフ、および、速度表示は GPS の受信状況により実際の速度と異なることがあります。

※速度表示を「GPS」に選択している場合、GPS が受信できない場合の速度表示は、最後に表示された速度のままとなります。

※速度表示を「GPS」に選択している場合、GPS が受信できない期間の速度グラフは描画されません。

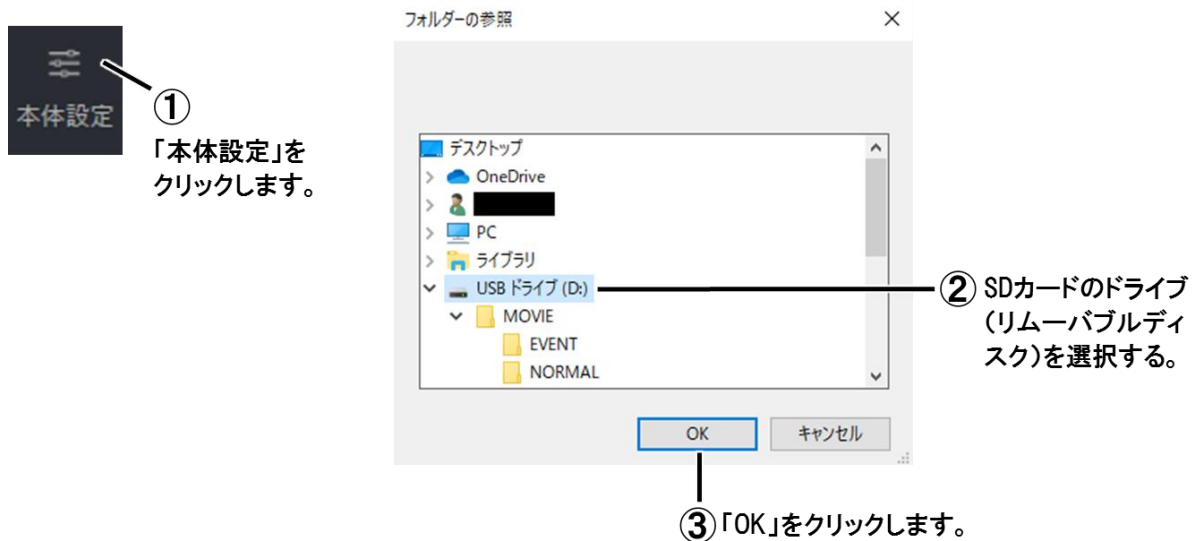
9. 本体設定

「本体設定」はレコーダー本体の設定が行えます。「本体設定」には「イベント設定」、「動作設定」、及び、「時刻設定」があります。

本体設定画面を開く方法

- ①「本体設定」をクリックします。「フォルダーの参照」画面が表示されます。
- ②SD カードのドライブ(リムーバブルディスク)を選択します。
- ③「OK」をクリックします。「本体設定」画面が表示されます。

※ドライブの指定は必ずリムーバブルディスクを選択してください。リムーバブルディスクの中にある「MOVIE」フォルダー等のフォルダーは指定しないでください。設定ファイルが読み込めません。



9.1. イベント設定

急加速や急ブレーキ等のイベントに関する設定を行います。



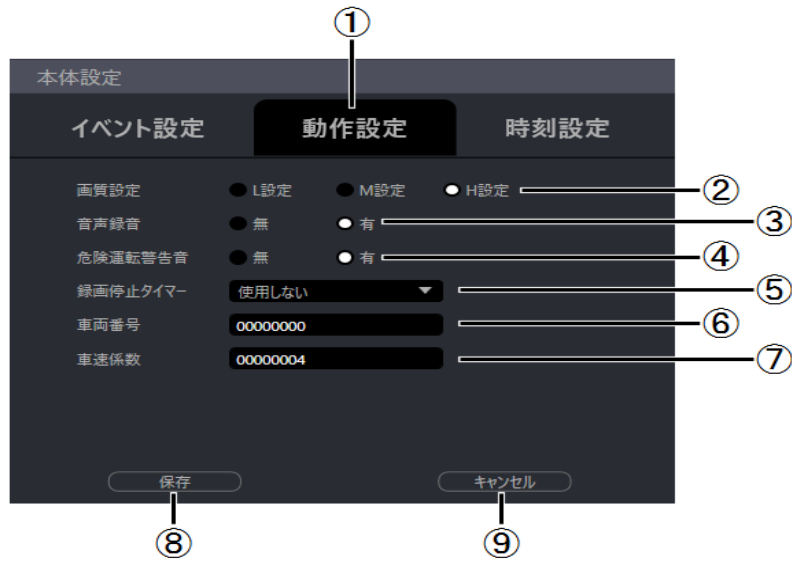
項目	説明	デフォルト設定
① イベント設定	イベント設定のタブを表示します。	-
② チェックボックス	チェックボックスをオンにしたイベント判定の項目が有効となります。 使用しない判定はチェックボックスをオフにしてください。	-
③ 急ブレーキ	急ブレーキと判定する加速度をプルダウンメニューから選択します。 判定値の値が大きいほど判定基準が高くなり、急ブレーキと判断されにくくなります。	チェックボックス: オン 判定値: 4
④ 急加速	急加速と判定する加速度をプルダウンメニューから選択します。 判定値の値が大きいほど判定基準が高くなり、急加速と判断されにくくなります。	チェックボックス: オン 判定値: 4
⑤ 急ハンドル	急ハンドルと判定する加速度をプルダウンメニューから選択します。 判定値の値が大きいほど判定基準が高くなり、急ハンドルと判断されにくくなります。	チェックボックス: オン 判定値: 4

- ⑥ 速度超過 速度超過と判定する速度をプルダウンメニューから チェックボックス:オフ
選択します。
- ⑦ アイドリング 時間設定 アイドリングと判定する時間を入力します。 チェックボックス:オフ
入力可能な範囲は 1 から 99 で、単位は「分」です。
- ⑧ 保存 設定を SD カードに書き込みます。 -
- ⑨ キャンセル 本体設定画面を閉じます。 -

加速度(急ブレーキ、急加速、急ハンドル)判定値			
チェックボックス	プルダウンメニュー	加速度	備考
	表示		
オフ	-	-	判定なし
オン	1	0.2G	
	2	0.3G	
	3	0.4G	
	4	0.45G	デフォルト
	5	0.5G	
	6	0.6G	
	7	0.7G	
	8	0.8G	
	9	0.9G	
	10	1.0G	

9.2. 本体動作設定

本体の動作に関する設定を行います。



項目	説明	デフォルト設定
① 動作設定	動作設定のタブを表示します。	-
② 画質設定	画質を L・M・H から選択します。 L 設定:画質低(2Mbps) M 設定:画質中(4Mbps) H 設定:画質高(8Mbps)	H 設定
③ 音声録音	音声録音の無・有を選択します。 無: 音声を録音しません。 有: 音声を録音します。	有
④ 危険運転警告音	危険運転警告音の無・有を選択します。 無:危険運転イベント発生時に警告音を鳴らしません。 有:「急ブレーキ」「急加速」「急ハンドル」イベント発生時に警告音を鳴らします。(「速度超過」は対象外です。)	有
⑤ 録画停止タイマー	録画停止タイマーの設定を行います。 使用しない:録画停止タイマーを使用しません。 1分～180 分:設定した時間録画停止タイマーが動作します。	使用しない
⑥ 車両番号	車両番頭を設定します。入力可能な文字は数字、及び、アルファベット大文字で 8 桁です。必ず 8 桁を設定してください。	00000000
⑦ 車速係数	車速係数を設定します。車種に合わせて 1～99 の範囲で設定してください。 駆動軸 1 回転当たりの車速センサ発生パルス数。	4
⑧ 保存	設定を SD カードに書き込みます。	-
⑨ キャンセル	本体設定画面を閉じます。	-

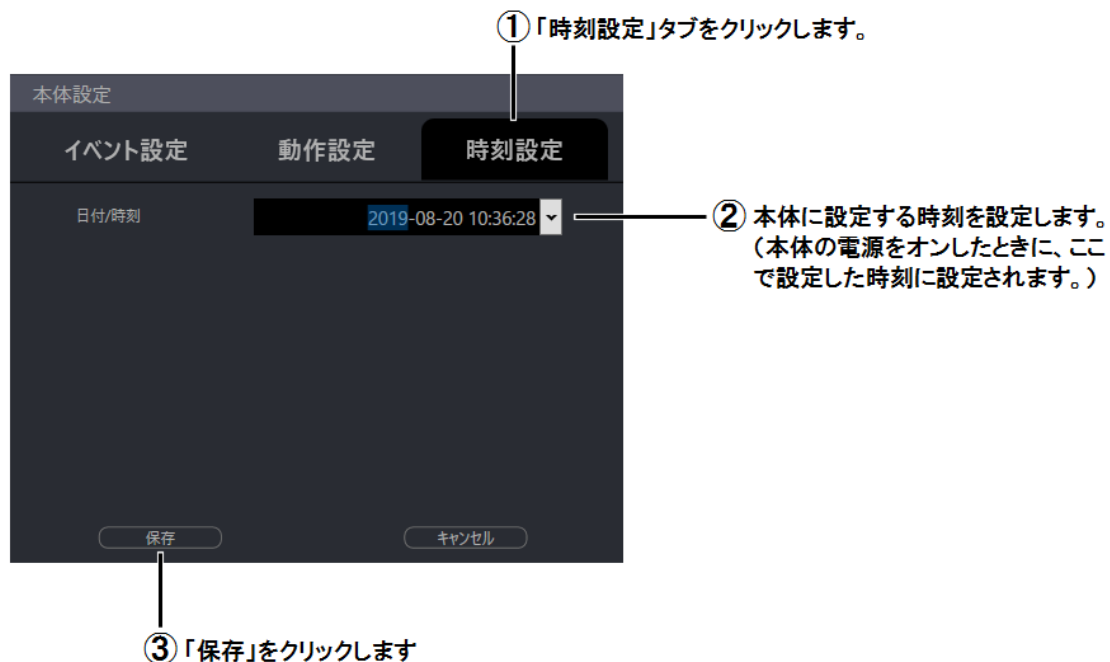
9.3. 時刻設定

本体の時刻の設定を行います。

※動作中は GPS により自動的に時刻が補正されます。通常の使用ではビューアソフトによる時刻設定を行う必要はありません。
(GPS が受信できない環境で時刻がずれた場合にビューアソフトを使用して手動で時刻を設定してください。)

時刻設定を行う方法

- ① 本体設定の「時刻設定」のタブをクリックします。
- ② 本体に設定する時刻を設定します。
- ③ 「保存」をクリックします。SD カードに時刻設定ファイルが作成されます。
- ④ 時刻設定ファイルが作成された SD カードを本体に挿入し本体の電源をオンにします。電源オンしたときにビューアで設定した時刻が反映されます。



※設定画面に表示されるのはパソコンに内蔵されている時計の時刻です。
カメラ一体型ドライブレコーダー本体の時計時刻ではありません。

※SD カードに記録されている映像ファイルの時刻より、本体の時刻を過去の時刻に設定した場合、録画ができなくなります。正しい時刻を設定してください。

※時刻設定タブの「保存」をクリックすると時刻設定のみを保存します。本体設定の他のタブの内容は保存されませんのでご注意ください。

10. 異常と思われる前に

お問い合わせをされる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常と思われるときは、お買い上げの販売店または、表紙に記載したお問い合わせ先にご相談ください。

症状	チェック項目
パソコンでビューアーが起動できない。	パソコンの動作環境は適切ですか？ SD カードは正常に挿入されていますか？
映像の再生ができない。	パソコンの動作環境は適切ですか？ SD カードは正常に挿入されていますか？ SD カードのデータが壊れていませんか？
SD カードのデータが壊れている。	SD カードをフォーマットしてください。